

赤城の景色を楽しみ己の限界に挑む  
赤城山ヒルクライム一般参加者募集

問い合わせは  
まえばし赤城山ヒルクライム大会実行委員会 ☎027-898-5834

まえばし赤城山ヒルクライム大会を開催。全国屈指のコースに挑む参加者を募集します。山頂を目指して初秋の赤城山を仲間と自転車で駆け上がろう。

**日時** = 9月28日(日)午前6時30分～11時  
**コース** = 市立前橋高エリアから赤城山総合観光案内所までの20.8km  
**対象** = 中学生以上 (①一般インターネット受け付け) 先着2,700人 (②郵送枠受け付け) 300人 (抽選)  
**費用** = ①②は各6,000円 (中学生は3,000円)  
**抽選発表** = ②は6月下旬



参加受け付けは**5月23日(金)午後8時から**

**申し込み** = ①は5月23日(金)午後8時～30日(金)同大会ホームページ (<http://www.akg-hc.jp>) で②は5月30日(金)～6月5日(休)に往復ハガキで。

夏の赤城山を駆け抜ける  
コーエイエ・C PRESENTS あかぎ大沼・白樺マラソン大会2014参加者募集

問い合わせは スポーツ課 ☎027-898-6990

「コーエイエ・C PRESENTS あかぎ大沼・白樺マラソン大会2014」を開催。標高1,360mの赤城山大沼は、夏でも走るのに適しています。詳しくは開催要項をご覧ください。

**日時** = 8月31日(日)午前10時スタート  
**コース** = 赤城山大沼湖畔  
**対象** = 小1以上  
**種目** = 〈20km・10km・5km〉 高校生以上 〈3.2km〉 中学生 〈1.5km〉 小学生

**費用** = 〈一般〉20kmと10kmは4,000円、5kmは3,500円 〈高校生〉2,000円 〈小・中学生〉1,000円  
**開催要項の配布** = 市役所スポーツ課、各支所・公民館・市民サービスセンター、市有施設で  
**有料シャトルバス** = 〈前橋駅〉先着100人 〈グリーンドーム前橋第6駐車場〉先着350人  
**申し込み** = 6月13日(金)までにスポーツ課へ。またはランネット (<http://runnet.jp>) で

鮮やかな赤城山へ  
赤城山新緑&つつじWEEK

問い合わせは  
前橋観光コンベンション協会 ☎027-235-2211

6月1日(日)から6月29日(日)まで、「赤城山新緑&つつじWEEK」を開催。期間中は、応募者に抽選でプレゼントが当たるスタンプラリーや、各種体験イベントなどが盛りだくさん。詳しくは前橋観光コンベンション協会に問い合わせるか、同協会ホームページ (<http://www.maebashi-cvb.com>) をご覧ください。

■**駅からハイキング「百名山赤城山新緑とつつじの道ウォーキング」**  
**日時** = 6月7日(土)～6月22日(日)、午前9時～11時

**集合場所** = 赤城公園ビジターセンター (富士見町赤城山)  
**コース** = 白樺牧場や覚満淵をめぐる約12km  
**申し込み** = 期間中集合場所へ直接  
■**あかぎ大沼・覚満淵「爽やか」ごみ拾い活動**  
赤城大沼や覚満淵でのごみ拾い活動の参加者を募集します。  
**日時** = 6月1日(日)午前9時  
**集合場所** = あかぎ広場 (富士見町赤城山)  
**申し込み** = 当日集合場所へ直接



精糸原社の製糸工女 (北曲輪町：現在の千代田町一丁目)

日本を支えた生糸

幕末の開港以降、日本の二大輸出品は生糸と茶。この輸出で外貨を獲得し、近代化を進めました。生糸の品質向上と増産は、欧米諸国と肩を並べようとした明治政府の重要な課題。そのため明治5年(1872年)、フランスの技術を導入して官営富岡製糸場が設立されました。

藩営前橋製糸所と速水堅曹

官営富岡製糸場が創業する2年前の明治3年(1870年)、前



速水堅曹 (速水壽壯氏 所蔵)

藩営前橋製糸所の歴史はわずか2年ですが、東京大名誉教授・石井寛治さんは「藩営前橋製糸所は官営富岡製糸場と並ぶ技術普及の有力拠点となった」と高く評価しています。ミューラーから当時の最先端の器械製糸技術を学び取るうと努力した速水は、このときの経験に基づき、日本最高の製糸技術者になりました。

橋藩はスイス人技師・ミューラーの指導で藩営前橋製糸所を設立。責任者は小参事・深沢雄象で、直接の仕事は生糸取締役・速水堅曹が担当しました。



日本最初の器械製糸・藩営前橋製糸所跡 (細ヶ沢町：現在の住吉町一丁目)

前橋の先人の貢献

イコモスは「19世紀末期に養蚕と生糸産業の革新に決定的な役割を果たし、日本が近代工業国仲間入りする鍵となった」と富岡製糸場と絹産業遺産群を高く評価しました。  
藩営前橋製糸所での経験は後に所長となる速水をおして富岡製糸場の運営に生かされました。歴史に見れば前橋の先人の努力も、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録に貢献したことになります。

さらに詳しい情報をラジオでチェック!

**Mowave.84.5MHz**  
まえばしCITYエフエム

■歴史再発見「前橋ルネッサンス」  
**日時** = 5月25日(日)午後1時～(20分間)  
(再放送: 5月27日(火)午後3時30分)  
**内容** = 官営富岡製糸場と藩営前橋製糸所をテーマに、本市の専門職員が詳しく解説します